

相馬ゆうこの



HP

南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室(荒川区役所内)

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

冬から春へ…荒川区にもっと花と緑を

暖かい日と寒い日を繰り返し、春が近づいてきます。南千住図書館の水仙や庭先の梅、ミモザなどが寒風の中で咲いていて、汐入公園のオオカンザクラもそろそろ満開になりそうです。



荒川公園の河津桜

今年のソメイヨシノの開花は3月20日頃、満開は29日頃の予想です。汐入公園、荒川公園をはじめあちこちの街路樹や卒業式を控えた校庭にもぎやかに。尾久の原公園のシダレザクラ祭りは3月28日(土)、上野公園の桜まつりは3月14日(土)～4月5日(日)まで。その他のお花見スポットでも、3月中旬～下旬にかけてライトアップなど予定されていて楽しみです。



ミモザは国際女性デーのシンボル

- ・尾久の原公園シダレザクラ祭り 3/28(土)
- ・うへの桜まつり(上野公園) 3/14(土)～4/5(日)



四季折々の花と緑を

荒川区の「区の木」は桜、「区の花」はツツジです。区内の街路樹は3～4月にソメイヨシノが咲き、葉桜になる5月にはツツジが咲き、都電沿いではバラも満開に。でも近年はソメイヨシノの伐採、猛暑でツツジもまばらになり改めて対策が必要に。あわせて軒先や町中花壇、公園・街路などにパンジーや梅、ミモザなど1～2月に咲く花の植栽もすすめては。



都電のバラの市

公園、街路に木陰を

緑化の方針などを定めた区の「花と緑の基本計画」は、2年後の2028年に改定予定です。

ソメイヨシノの伐採後の新たな桜並木と花の魅力を活かした街路樹選定とともに猛暑に木陰をつくる中高木の充実も提案したい。

道路を汚す木の実の落果対策や猛暑の水やりなどこまめな課題もありますが、花と緑あふれるまちづくりをすすめたい。みなさんのご意見お寄せください。

昔のけやき通り…今よりも木が立派→



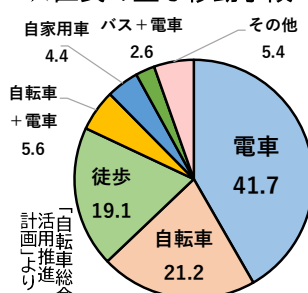
交通弱者にもやさしい移動手段とまちづくりを

4月からの自転車の“青切符”（罰金）導入について、区議会でも様々な意見がでています。あらためて区民の日々の移動手段の実態を分析し、交通環境整備と安心安全のまちづくりをすすめたい。



鉄道は充実、バスは不足？ 区民の「主な移動手段」は「電車」が4割で最多です。区内には鉄道駅（都電停留所含む）が27駅あり、駅密度（1km²あたりの駅数）は「2.65」で23区中第3位に。「交通の便がよい」のが区の魅力で、JR・TX・地下鉄などと都電の役割も大きい。

★区民の主な移動手段



「自転車総合活用推進計画」より

一方で、高齢者などにとって便利な「バス」利用は2%、区内のバス停密度（1km²あたりのバス停数）も「8.9」と23区中15位にとどまっています。夕入や町屋地域はさくらバスが廃止、都営バスも含め地域のバス充実が求められます。

★区内の鉄道とバスの状況

鉄道	23区中		最大 港区 46駅	
	鉄道駅数	27駅		10位
バス	駅密度 (/km ²)	2.65	3位	千代田区 3.25
	バス停密度 (/km ²)	8.9	15位	台東区 18.5
	外出時の主な移動手段が「バス」の人の割合	2.0%	21位	江東区 5.2%

「都内における自動車利用抑制策の手引き」より

地域の移動は自転車 「自転車」は、買い物など地域内の移動で使う方が4～6割に、通勤・通学で「地域内の鉄道駅まで」の移動にも不可欠になっています。自宅と駅間の距離が長い南千住では「駅まで



地域	地域内の移動に自転車を 使う人の割合	地域内の駅までの移動に自転車を 使う人の割合
南千住	62.8%	45.7%
荒川・町屋・日暮里	44.4%	26.6%
尾久	50.4%	7.5%※

利用」が45.7%、その他も含めると62.8%が利用しています。

※尾久地域は、尾久駅が北区にあるため地域内の移動に含まれず表では割合が低くなっており、実際は尾久駅をふくむ北区方面の駅へは約4割が自転車を利用

※北区にある尾久駅などへは約4割が自転車を利用
「自転車総合活用推進計画」より

自転車は買い物や通勤通学、子どもの送り迎えなど区内の生活に不可欠です。「健康のため」「交通費の節約」に利用するほか、「徒歩で行ける商店が少ない」「近くの保育園に入れず離れた園に通っている」「バスが少なく不便」などの声もあり、必然的に利用が多くなっています。（→裏面に続く）

〈法律・生活相談〉

4月の定例法律相談日は 9日(木)です

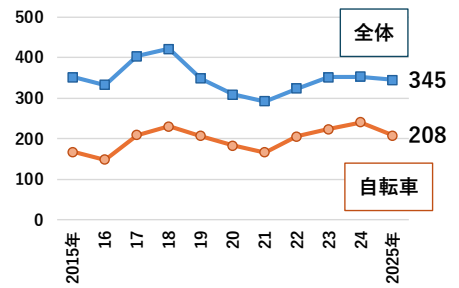
ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の昼間に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

(→表面から続く)

事故防止の環境整備必要 荒川区は、面積10km²に人口密度が全国3位(2024年)と高く、自転車保有台数も人口の1.6倍など、自転車の利便性の一方で過密な人口・交通状況の実態もあります。交通ルールの周知・徹底とともに、個人任せではなく必要な道路整備や安全なまちづくりをすすめる区・都・国の責任が問われています。

【区内の交通事故件数 推移】



誰にもやさしいまちづくりを 運動能力の高い若者などが自転車で走行する際には、高齢の方、障害のある方、妊産婦、乳児連れの方などに十分配慮が必要です。身体機能が低下して利用が危険な高齢者の方がやむなく利用する場合もあり、歩いて行ける距離に商店や子ども施設の整備、障害のある方やベビーカー利用の方などが安心して歩ける歩道と自転車専用道路の整備、区内をつなぐバス路線の整備など誰にもやさしいまちづくりを一体的にすすめてこそ、自転車事故を減らすことにつながると思います。国も都も、そうした環境整備にこそ予算をつけてほしい。荒川区からできることをすすめます。



16歳以上は罰金も 青切符導入で「子どもも車道を走らないとダメ?」と心配の声も。青切符の対象は「16歳以上」ですから、15歳以下は罰金は科されません。ただし13~15歳は、罰金はありませんが原則「車道走行」です。法律上は、歩道走行は「12歳以下の子ども」と「70歳以上の高齢者」「障害のある方」「安全上やむを得ない場合」とされています(ただし徐行に限る)。



“自転車ヘルメット”購入費助成は3月まで

自転車のヘルメット購入費の助成は、3月末で終了予定。これから購入される方はお急ぎください。

○助成対象…SGマーク等の安全基準を満たした、3千円以上のヘルメット

○助成可能な店舗…南千住周辺は6件

サイクルワールド南千住店	南千住3-12-14
ロイヤルホームセンター南千住	南千住4-1-4
サイクルベースあさひ南千住店	南千住4-2-2
サイクルスポット南千住店	南千住4-7-2
ホンダウインググジライ	南千住5-6-13-101
サイクルオリンピック三ノ輪	東日暮里1-8-1

★購入時に「区の助成を利用する」と申し出れば、2千円引きで購入できます。本人確認できるものをご持参ください。

自転車ヘルメットが割引で買えます!

得

区内対象店で、SGマークなど安全基準を満たした3000円以上の新品ヘルメットをご購入の際、

2000円引きで購入できます!

議会では、4月からの青切符導入をふまえ助成延長を求める意見も。子どもや学生、高齢者などの購入には助成を続けてもいいのではと思います。一方でヘルメット着用率は低迷、安全のため必要と分かっているにもかかわらず髪型を直す手間など実情はむずかしい。みなさんはどうですか。

新年度の学童申し込み～今年も2か所で超過

南千住地域の来年度の学童クラブ申請には、定員670人に582人（下表）の申込みがありました。今年は「南千住第一・第二」と「南千住六丁目」の2か所が申込み超過となり、二瑞小学童などへ利用調整が行われます。

	定員	申請数	差引
南千住第一・第二	120	123	3
南千住六丁目	110	118	8
二瑞小	70	55	△15
汐入小	130	123	△7
汐入東小	90	46	△44
汐入（ふれあい館内）	110	95	△15
東日暮里（ふれあい館内）	40	22	△18
計	670	582	-

汐入地域の学童は申請数が定員内におさまり、「汐入東小」「汐入」の2か所は高学年の受け入れも行います。

学童クラブ この間、国道4号沿いなどのマンション建設による子育て世帯の増加も

あり、毎年申込み超過が発生。とくに「六丁目」は2021年の新設以来ずっと申込み超過となっており、そもそも学童クラブが足りていません。「第一・第二」も余裕があるとはいえない状況で、三瑞小と瑞光小学区域内に引き続き学童クラブ整備が求められます。



六丁目学童



一方で汐入地域は、児童数は減少傾向にありますが「汐入小」「汐入」ともに利用は多く、今後、東小との統合で定員確保できるのか、こちらも決して余裕があるとはいえません。大規模化してきた学童を見直し、子どもたちがゆったりと過ごせる環境をつくりたい。

子どもの豊かな放課後支援を

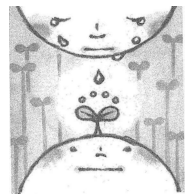
区内全体では定員2,175に2,007人の申込みがあり、学童クラブ27か所中10か所で申込み超過に。共働き世帯が20年前の1.5倍になり、少子化でも学童の需要は増加、必要な増設と安全で豊かな放課後支援が求められています。さらに障害のある子どもの受け入れ体制整備などの課題も。

支援員の処遇改善も必要、あらためて、詰め込みでなくゆとりのある保育環境づくりを求めます。



荒川区から「NO WAR」を

アメリカとイスラエルによるイランへの国際法違反の軍事攻撃に、なぜ日本はNOを言えないのでしょうか。泥沼化する戦争をやめると平和憲法を持つ日本こそ世界へ、わたしも言い続けたい



bytomoko

ご意見・ご質問頂きました ○「『東京アプリのダウンロードとマイナンバーカードの利用でポイントとがもらえる』『初めてのスマホ購入でマイナンバーカードを読み込みと東京アプリのダウンロードで3万円補助』などと聞いて早速やってみたのですが、高齢者の私にはチンプンカンプンでした。物価高騰への支援なら、マイナンバーカード抜きにポイント支給して下さい」という声があちこちから、マイナンバーカードの普及が目的なのかもしれませんが、情報弱者にも納得いく暮らし応援こそ必要です。

